

# 体験寺子屋事業 実践事例（取組の一例）

実施区分  
日帰り（4日以上）

## ■ 実施主体

単位子ども会

## ■ 参加対象

小学1～6年生

## ■ 実施・宿泊場所

地区公会堂、農園、陶芸工房 など

## ■ 事業の目的

- ☑ 地域の一員としての自覚をもち、技能や役割、コミュニケーション技法を学ぶ
- ☑ 遊び・体験・学習を通じて、様々な個性を伸ばし、心身ともにたくましく成長する

## ■ 体験活動の内容

みかん狩り体験、陶芸体験、防災学習体験、クリスマス会 など

## ■ スケジュール

1回目	2回目
<p><b>みかん狩り体験（10月）</b></p> <p>特産物であるみかんの収穫体験を、地域でみかん農園を営む農家さんの協力を得て実施</p>	<p><b>陶芸体験（11月）</b></p> <p>「文化の日」に合わせ、伝統工芸に触れる機会を持つと、工房にてろくろを使った陶芸体験を実施</p>
3回目	4回目
<p><b>防災学習体験（12月）</b></p> <p>地域防災訓練の実施に合わせ、防災の知識と技能を学ぶため、学習体験会を実施</p>	<p><b>クリスマス会（12月）</b></p> <p>大人が会を運営するのではなく、高学年の子供を中心に、グループに分かれて子供が主体となってクリスマス会の運営を実施</p>

## ■ 経費内訳

歳入項目	金額	内容
補助金	40,000円	県補助金
自治会負担	20,000円	—
団体負担	20,000円	—
<b>合計</b>	<b>80,000円</b>	



## Point

単に親睦を深める“お楽しみ会”のような活動は補助対象外ですが、そのような活動に「**子供たちが運営を担う**」や「**歴史や文化を学ぶ**」等の教育的意義が付加されれば補助の対象となり得ます！

歳出項目	金額	内容
報償費	9,000円	講師謝礼 (3,000円×3人)
旅費	5,000円	バス代
需用費	51,000円	食糧費 材料費 印刷製本費 感染症対策
役務費	5,000円	保険代
使用料	10,000円	施設使用料 コピー代
<b>合計</b>	<b>80,000円</b>	

## ■ 工夫した点

- ☑ 例年実施していた子ども会活動に、地域資源・人材を活用（農園、工房）したり、子供の主体性を育むためのプログラム（会の運営）を実施したりすることで活動に教育的意義を付加し、補助対象の活動となった
- ☑ 地域防災訓練の実施に合わせ活動を実施することで、自治会関係者と交流を図り、役割分担をすることで負担軽減につなげた